

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	全政策共通		25年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 計画担当課長	
施策名	全施策共通		成果	コスト				
事務事業名	港湾計画(改訂、一部変更、軽易な変更)		継続	拡大	維持	連絡先 連携課	052-654-7911 環境担当	
目的	対象(誰・何を)	名古屋港港湾計画					事業 期間	～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	平成30年代後半を目標年次とする計画に改訂し、今後の開発、利用及び保全に関する指針を定めます。また、緊急を有する案件については、適宜一部変更や軽易な変更を行います。						
概要	学識経験者、港湾関係者、経済団体、関係行政機関等で構成する名古屋港基本計画検討委員会において港湾計画改訂のベースとなる基本計画をとりまとめ、それを基に港湾計画を改訂します。また、緊急を有する案件については、一部変更や軽易な変更を行うことで対応を図ります。					根拠 法令等	港湾法第3条の3	
活動内容	社会情勢の変化等を踏まえ、これまで名古屋港基本計画検討委員会で取りまとめた基本方針、施策展開等の検証を行います。緊急を有する案件に対応するため、金城ふ頭及び弥富ふ頭における公共埠頭計画、土地利用計画等を内容とする一部変更を行います。また、東海元浜ふ頭における専用埠頭計画等を内容とする軽易な変更を行います。					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
						関連 シート		

2 DO(実施)

コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	35,197	65,330	22,626	41,051	
人件費	千円	50,117	55,013	76,198	60,443	
合計	千円	85,314	120,343	98,824	101,494	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
港湾計画の改訂手続きの進捗状況(全5工程) (進行管理型)	目標	-	-	1	5	5	港湾計画改訂における実施工程: ①基本方針、施策展開の検証 ②基本計画の作成 ③委員会による合意形成 ④名古屋港審議会への諮問・答申 ⑤交通政策審議会への諮問・答申	
	実績	-	-	1				
	事業進捗状況(平成26年度)	順調、やや遅れ・遅れ						
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(平成26年度)							
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	平成27年度の改訂に向け、名古屋港基本計画検討委員会を1回開催し、基本計画及び施策展開の検証を行い、目標達成に向け順調に進捗しました。平成27年度は残りの4工程(②～⑤)を行う予定です。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性 本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>	港湾計画は、港湾法に基づいて港湾管理者が策定しなければならない事務事業です。						
	<input type="radio"/>							
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>	港湾計画は港湾整備のマスタープランであり、すべての施策に貢献すると考えられます。第3回名古屋港基本計画検討委員会を開催し、目標としていた基本計画及び施策展開の検証を行いました。						
	<input type="radio"/>							
効率性 最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	最小のコストで事務を行いました。						

4 ACTION(取組)

課題	平成27年度以降の取組
現計画の目標年次を既に過ぎており、また、取扱貨物量の実績が目標を越えていることから、早急に改訂を行う必要があります。	名古屋港基本計画検討委員会の検討を踏まえて、港湾計画改訂(案)を作成し、名古屋港審議会及び交通政策審議会港湾分科会の諮問に向け、取組を進めていきます。